

平成三十一年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成三十一年二月一日～平成三十一年四月末
投句数 一、八八八句

特選三句

天

鐘一打山の眠りを覚ましけり

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

地

鎌倉に朝の月あり初櫻

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

人

一山の花の盛りの観世音

東京都武蔵野市

池田 宏治

入選句

一般の部

波音の鎌倉高校駅暮春

神奈川県横浜市鶴見区

秋山 つとむ

枝垂梅風と戯る昼下り

大阪府豊中市

安藤 知明

訓練のヨット行き交ふ春の海

神奈川県厚木市

飯嶋 文子

鎌倉の源氏山より春立てり

神奈川県横浜市泉区

江口 隆人

きのふより音のたしかに春のみづ

静岡県磐田市

太田 和志

三門より花人となる石畳

東京都渋谷区

小熊 紀子

気持よく挨拶されし梅日和

神奈川県横浜市港南区

金子 きよ

寒牡丹王朝の恋覗くごと

神奈川県藤沢市

神谷 章夫

咲き満ちて山門かくす桜かな

神奈川県横浜市栄区

河田 勝郎

やはらかに影の回れる風車

神奈川県藤沢市

笹川 希伊子

冴返る日の潮騒を遠く聞く

神奈川県横浜市金沢区

篠原 広子

鶯の声高まりぬ 建長寺

東京都東村山市

田桐 美流

江ノ電の駅ごとにある余寒かな

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

時折の風に梅の香寄す古刹

神奈川県相模原市南区

田中 京子

辿りゆく虚子の足跡梅一輪

神奈川県鎌倉市

田中 小百合

虚子の墓拝したまはる初音かな

神奈川県横浜市戸塚区

原 和三

潮の香をしづめてけふの花の雨

神奈川県鎌倉市

藤田 銀子

青空に枝跳ね上げる古都の梅

東京都品川区

藤田 充子

鎌倉やどの路地曲りても桜

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

正谷 民夫

おお寒い両手で包む孫の頬

神奈川県横須賀市

山本 暁男

(順不同)

入選句

子どもの部

ふゆのあさえのでんゆつくりはしりだす

神奈川県横浜市都筑区

かすが こうじ

ゆいがはまゆうやけとてもきれいだな

神奈川県鎌倉市

小林 薫樹

ちるさくらだいぶつさまのかたにのる

東京都目黒区

笹野 琥太郎

衣張をのぼりて聞けし春の声

神奈川県鎌倉市

佐藤 大河

セーラ服濡らす春雨針のごと

福島県郡山市

澁谷 太祐

冬景色鎌倉この目に焼き付けて

岡山県岡山市北区

田所 慧大

橋の上りすが走って桜散る

東京都文京区

中村 海翔

線路上電車と走る春一番

東京都江東区

難波 航平

別れの日風船泳ぐ青い空

東京都調布市

西川 一花

風光る本堂一人拜んでた

東京都中央区

西塚 みつたか

(順不同)